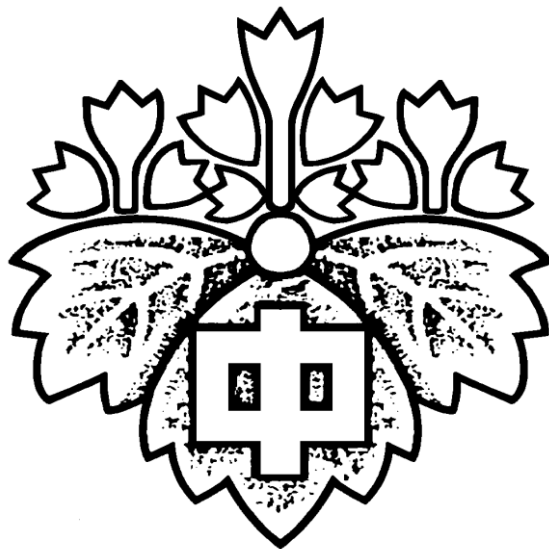


令和8年度

学習のねらいと進め方

各教科のシラバス

《第2学年》



大阪市立田辺中学校

教科	国語	学年	2	週当たり時間数	4
----	----	----	---	---------	---

### 1 教科概要（到達目標や目的）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2 年間授業計画（学習単元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	1：豊かに想像する	4：論理的に考える	7：読みを深め合う
	2：わかりやすく伝える	5：古典に学ぶ	8：視野を広げる
	3：ものの見方・感性を養う	6：情報に関係づける	9：振り返って見つめる

### 3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	テスト（知識・技能を問う問題）	テスト（文章理解力を問う問題）	提出物の内容
	小テスト	提出物の内容	発表
	プリント	作文	
	ワーク	暗唱	
		ワーク	
		プリント	

### 4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

- ・授業では、課題について自ら考え、他者との交流を通じた活動を行います。
- ・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、自分の思いや意見を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけましょう。
- ・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。毎週末には元気アップの課題として「元気アップ視写」プリントを配布します。視写は、語彙力を高め、文章を速く読み、書く能力を向上させることができます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
- ・授業中のノートについては板書を書き写すだけでなく、授業のポイントや自身で気づいたことやクラスメイトの発言した内容などをメモとして記入しましょう。
- ・タブレットを使用することが多いので、必ず充電して持ってきてきましょう。

教科	社会	学年	2	週当たり時間数	3
----	----	----	---	---------	---

## 1 教科概要（到達目標や目的）

<p>【歴史的分野】</p> <p>(1)我が国歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察する力を身に付ける。</p> <p>【地理的分野】</p> <p>(1)我が国の国土および世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係に着目して、多面的・多角的に考察する力を身に付ける。</p>
---

## 2 年間授業計画（学習单元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	○世界の地域的特色 ・オセアニア州・南北アメリカ州	○日本の諸地域 ・中部地方・関東地方	○開国と近代日本の歩み ・欧米における近代化の進展
	○日本の地域的特色	・東北/北海道地方	・欧米の進出と日本の開国
	○日本の諸地域 ・九州地方	○身近な地域の調査	・明治維新
	・中国/四国地方	○近世の日本 ・ヨーロッパ人との出会いと全国統一	・日清/日露戦争
	・近畿地方	・江戸幕府の様子	

## 3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	テスト（小テストも含む）	テスト（小テストも含む）	提出物の内容
	提出物の内容	提出物の内容	振り返り
		振り返り	

## 4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

<p>社会科は「地理」で現在の世界の人々の生きざまに、「歴史」で過去の人々の生きざまに触れることで、私たちはさまざまな価値観や考えの人とともにどのように生きていくのかを考える教科です。</p> <p>授業では自分が考えたこと、感じたことを表現できる空間であることが大前提ですので、間違いをおそれず、どんどん手を挙げて積極的に発言してみよう。</p> <p>ノートは学習の記録です。黒板に書かれること以外にも、先生の話や資料などを工夫して書き込み、「あとから読んで分かる、オリジナリティあふれるノート」に仕上げてみましょう。</p> <p>様々なテストは学習内容の理解と定着の良い機会となります。苦手意識を持たず、自分自身の目標に向けて精一杯努力していきましょう。</p> <p>授業で感じた「疑問」や「問い」を大切に、自分で調べてまとめる自主学習にぜひ取り組んでみましょう。</p> <p>社会科は「人生を豊かにする教科」でもあります。テレビやメディア、本、お出かけなど、いろいろな生活体験とのつながりを楽しんでください。また、社会科はほかの教科と重なり合う部分の多い教科です。教科にとどまらず、いろいろな事象や原理、原則、しくみに関心を持ち、理解を深め人生を豊かにしていきましょう。</p>
--

教科	数学	学年	2	週当たり時間数	3
----	----	----	---	---------	---

### 1 教科概要（到達目標や目的）

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したリ、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

### 2 年間授業計画（学習単元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	式の計算	一次関数	図形の性質と証明（四角形）
	連立方程式	図形の調べ方	場合の数と確率
		図形の性質と証明（三角形）	箱ひげ図とデータ活用

### 3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	テスト（小テスト含む）	テスト（小テスト含む）	提出物の内容
	提出物の内容	提出物の内容	振り返り

### 4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

数学をなぜ学習するのか、数学を使って何ができるようになるのか、数学ができるようになるとうなるのか、それぞれの目標を持ち授業に参加しましょう。

授業を受けるときは、話を聞き、試して、自分ひとりでできるようになり、説明できるようになるように工夫しましょう。

授業を受けることは目的でなく、数学の力を身につけるための手段であることを意識できるようになりましょう。ノートは理解を深めるために使用するものであり、授業中に気づいたことをメモするなど工夫しましょう。

家庭学習を大切に、なぜ予習、復習、宿題をするのか意味を考えて取り組みましょう。

教科	理科	学年	2	週当たり時間数	4
----	----	----	---	---------	---

### 1 教科概要（到達目標や目的）

自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

### 2 年間授業計画（学習单元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	生物の体をつくるもの	さまざまな化学変化	大気の動きと日本の四季
	植物の体のつくりとはたらき	化学変化と物質の質量	電流の性質
	動物の体のつくりとはたらき	地球をとり巻く大気のように	電流の正体
	動物の行動のしくみ	空気中の水の変化	電流と磁界
	物質の成り立ち	天気の変化と大気の動き	
	物質の表し方		

### 3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	テスト（小テスト含む）	テスト（小テスト含む）	実験
	実験	実験	提出物の内容
	提出物の内容	提出物の内容	

### 4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

- ・理科は身近な日常の現象がどのようにして起こるのかを、様々な角度から考えていきます。
- ・覚えることが多いように思う理科ですが、理屈をしっかりと理解することが大切です。
- ・実験を通して実際に器具に触れて、日常の現象を自分で起こすことで、実体験として理解していくことが大切です。
- ・ICTを活用することで、学校では再現することのできない現象を視覚的にとらえることができるように取り組んでいきます。

教科	音楽	学年	2	週当たり時間数	1
----	----	----	---	---------	---

### 1 教科概要（到達目標や目的）

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするための必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんで行く態度を養い、豊かな情操を培う。

### 2 年間授業計画（学習单元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	オリエンテーション	合唱練習（混声三部合唱）	実技テスト（ギター）
	歌唱練習	音楽鑑賞（ロマン派・オペラ）	音楽鑑賞（歌舞伎）
	アルトリコーダー練習	ギター練習	実技テスト（山伏問答）
	音楽鑑賞（古典派）	実技テスト（歌唱）	
	実技テスト（歌唱・リコーダー）		

### 3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	実技テスト	実技テスト	実技テスト
	期末テスト	期末テスト	ワークシート
	ワークシート	ワークシート	観察
	観察	観察	

### 4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

・音楽の学習では、歌唱活動を中心に「アルトリコーダー」と「ギター」の楽器演奏、そして様々な曲を鑑賞します。歌唱活動では、ひとり一人が持っている素晴らしい「声」を歌声にして、カンツォーネや合唱曲に取り組みます。仲間と共に作り上げるハーモニーの美しさを感じられるよう、感性も磨いていきましょう。ギター実習ではクラシックギターに取り組み、基本的な奏法を学習し楽曲を演奏します。その音色にこだわりを持ち音楽に親しんでください。また、歌舞伎の鑑賞を通して日本の伝統芸能を学びます。

・音楽は、授業内で行う実技テストや筆記テスト、ワークシートの取り組み内容、授業中の発表で評価をつけます。

教科	美術	学年	2	週当たり時間数	1
----	----	----	---	---------	---

### 1 教科概要（到達目標や目的）

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

### 2 年間授業計画（学習单元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	一点透視図法	日本の模様と浮世絵	木彫 表面処理
	見て考えて、楽しい絵文字	木彫課題	線織面
	仏像について	産業革命と絵の具のはなし	

### 3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	作品	作品	作品の進捗
	アイデアスケッチ	アイデアスケッチ	ワークシート
	テスト	テスト	
		ワークシート	

### 4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

2年生では、1年生で学習した基礎的な内容をもとに制作活動を深めていきます。気持ちを込めて作ること、自分が表現したいことを掘り下げること、感じたことや考えたことを伝え合うことを大切に、取り組みましょう。

作品だけでなく、アイデアスケッチ、ワークシートなども、評価の対象になります。

教科	保健体育	学年	2	週当たり時間数	3
----	------	----	---	---------	---

### 1 教科概要（到達目標や目的）

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

(2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

(3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

### 2 年間授業計画（学習单元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・集団行動、ラジオ体操</li> <li>・体づくり運動</li> <li>・新体力テスト</li> <li>・陸上</li> <li>・保健、体育理論</li> <li>・水泳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳</li> <li>・陸上</li> <li>・体育大会の練習</li> <li>・器械運動</li> <li>・球技</li> <li>・保健</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上</li> <li>・ダンス</li> <li>・保健</li> <li>・球技</li> </ul>

### 3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各領域の運動の特性に応じた、基本的な技能を身につけている。</li> <li>・健康や安全について、基本的な知識を理解し、実践している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動場面において、自己の課題解決に向けて考え、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・健康や安全について、課題解決をめざし、科学的に考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動に関心を持ち、楽しさや喜びを経験できるよう、進んで取り組もうとしている。</li> <li>・健康や安全に関心を持ち、進んで学習に取り組もうとしている。</li> </ul>

### 4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

授業の進め方

●体育

- ・1年間を通し「ランニング、ラジオ体操、準備運動、トレーニング」を継続して行い、基礎体力の向上を図り、集団行動を身につけて安心で安全な集団を構築する。
- ・单元ごとの「めあて」に応じて、学習目標・計画をたて、授業の展開をする。
- ・ゲームなどを行い、記録をとりながら、練習の成果をためす。
- ・ICTを活用した授業を実践し、より深い授業展開及び活動につなげていき、生徒に興味関心そして主体的な活動に取り組んでいく。

●保健

- ・教科書「中学保健体育」を中心に、教科書とワークシートを中心に学習していく。单元によっては、体育実技と関連して学習を展開し、主体的深い学び及び協働学習に取り組んでいく。

教科	技術家庭	学年	2	週当たり時間数	2
----	------	----	---	---------	---

### 1 教科概要（到達目標や目的）

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

### 2 年間授業計画（学習単元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	情報に関する技術	電気を安全に使用する技術	ラジオ製作実習
	身の回りのエネルギー	ラジオ製作実習	運動エネルギーの変換
	食事の役割と中学生の栄養の特徴	調理実習	私たちの消費生活
	中学生に必要な栄養	調理の為の食品の選択と購入	消費者トラブルと対策
	被服実習	日常食の調理と地域の食文化	
	バランスの良い献立づくり		

### 3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	テスト	テスト	ワークシート
	作品	ワークシート	作品
		作品	

### 4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

<技術分野>

- ・現代社会で日常生活を送るためにはエネルギー変換や情報の技術は必要不可欠です。生活にも直接的に役立つ知識もあるので積極的に参加しましょう。
- ・実習では高温になる工具を使用します。怪我の無いように集中して取り組みましょう。

<家庭分野>家庭分野の学習は、これからの生活を展望し、課題をもって主体的によりよい生活を工夫できる力を身につけるうえで大切な学習です。特に中学生の時期は、人々に支えられて生活していることに気づくこと、そして自分も生活を支える一員としての自覚を持ち、生活をよりよくしようとする創意工夫をしていきましょう。また、班学習などを通じて、ひとりひとりが自己の責任を果たすことの大切さや相互に協力しながら学ぶことも大切なことです。学習したことを生活に活かせるよう、しっかり勉強しましょう。

教科	英語	学年	2	週当たり時間数	4
----	----	----	---	---------	---

### 1 教科概要（到達目標や目的）

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

### 2 年間授業計画（学習単元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	過去進行形	接続詞	比較
	There is (are)	助動詞	受け身
	未来の表現	動名詞	
	5つの文構造	疑問詞 + to不定詞	

### 3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	テスト(小テスト含む)	テスト(小テスト含む)	パフォーマンステスト
	パフォーマンステスト	パフォーマンステスト	提出物の内容
	提出物の内容	提出物の内容	

### 4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

英語を使いこなすためには、まず単語や文法といった基礎・基本を確実に習得し、それらを実際のコミュニケーションの中で繰り返し使って「生きて働く力」にすることが何より大切です。日々の学習や振り返りを通して、自分ができるようになったことを一つずつ積み重ねながら、自分の考えや気持ちを自信を持って伝え合えるよう、一緒に頑張っていきましょう。